



けやきっ子

六栄小学校だより 第3号 令和7年4月24日 文責：久保田 眞二



学校ホームページ
もご覧ください

「自分の命は自分で守る」意識を育てましょう！

4月22日(火)に、荒尾警察署、長洲町総務課、交通安全母の会のご協力を得ながら交通安全教室を行いました。低学年は運動場に設置された交差点で道路の渡り方を、中学年は体育館で交通ルールや自転車の乗り方について確認をした後に、運動場で実際に自転車の乗り方を、高学年は学校周辺の道路に出て自転車の乗り方を学習しました。時折、小雨の降る中でしたが、無事に交通安全教室ができたことに安心しました。

さて、全学年の交通安全教室を参観したのですが心配なことがありました。交差点では止まって左右の確認をして横断するという指導があったのですが、子どもたちの様子を見てみると十分ではありません。今回は、大人が交差点に立って横断旗を下ろして「今、渡りなさい」とか「左右を確認して」などと声をかけてもらったので、交差点の渡り方は良かったのですが、大人がいなかったら、止まって左右確認して横断することができたのかなと思いました。実際に朝の登校の様子を見てみると、横断歩道で止まりはしますが、十分に左右の確認をすることもなく横断してしまう子どもがいます。特に自転車での道路の横断は、いつも以上に安全確認をしなければなりません。子どもたちの中に「**自分の命は自分で守る**」という意識を更に育てなければならぬと感じました。

幸いにして、本校ではここ数年は大きな事故は起こっていませんが、放課後の子どもたちの過ごし方、学校周辺の交通事情を考えれば、交通事故がいつ起こってもおかしくありません。子どもたちのかけがえのない命を守るのは大人の責任ですが、子ども自身にも「**自分の命は自分で守る**」という意識を学校と家庭と地域で連携して育てていかなければなりません。そのためにも、普段から命の大切さや、交通ルールを守ることの大切さを子どもたちに伝えていかなければと思います。



交差点の渡り方を学習する低学年の子どもたちの様子



体育館で自転車点検の仕方について学習する中学年の子どもたちの様子



学校周辺の道路で自転車の乗り方について学習する高学年の子どもたち

子どもの生活リズムは整っていますか

新年度が始まって2週間が過ぎ、子どもたちの頑張っている姿をいろんな場面で見ることができます。嬉しいことですが、心配なこともあります。



4月後半から5月にかけての大型連休の後に、学校に行きたくない、何となく体調が悪い、学習に集中できない等の状態を訴える児童が出てくることです。これらの状態は、新しい環境に慣れようと精一杯頑張っていた心と身体のスOSなのです。このようにならないためにも、保護者が子どもの生活リズムを整えてあげることが大切です。子どもさんの就寝時間や起床時間は遅くならないでしょうか。朝食をきちんと食べて登校しているでしょうか。「早寝早起き朝ごはん」が定着できていれば、元気に学校生活を送ることができます。大型連休が終われば運動会の練習が始まります。子どもたちが元気に過ごせますよう、ご家庭のご理解とご協力をお願いします。また、何か気になることがあれば早めに学校にご相談ください。

お世話になりました 授業参観・学級懇談会・PTA 総会

4月19日(土)は、年度当初の授業参観・学級懇談会がありました。保護者の参加率が9割以上と非常に高く嬉しく思いました。また、頑張っている子どもたちや先生方の様子を知っていただいたことも嬉しく思いました。

授業参観後は、PTA 総会、役員決めもスムーズに行われ、今年度もPTA 活動がスムーズにスタートできたなど感じました。

今後ともよろしくお願いします。

おめでとうございます

3月7日から産前休暇のために休んでおりました殿崎菜穂子教諭が、4月21日に無事に男の子を出産しました。母子ともに元気だそうです。おめでとうございます。

